

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2018年度 パフォーマンス向上会議情報(2018年7月24日(火)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2018年7月24日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード
1	【3号機 原子炉格納容器ガス管理システム水素モニタ(A)の指示上昇について】 3号機原子炉格納容器ガス管理システム水素モニタ(A)の指示値が上昇。 水素モニタ(A)の計器調整を実施し、上昇前の指示値で安定。 水素検出器に不純物等が付着したことが原因と推定。 水素モニタ(B)は指示値の変動なし。	GⅢ
2	【地下水バイパス一時貯留タンクグループ2 循環ラインタンク入口電動弁の動作不良について】 タンク貯留の地下水循環運転に伴うタンク入口電動弁の操作時、動作不良を確認。手動による操作は可能。 弁の分解点検を実施する。	GⅢ
3	【6号機 燃料プール浄化系運転性能検査における検査計器の精度逸脱について】 燃料プール浄化系運転性能検査に使用している計器の点検時、計器の精度が逸脱していることを確認。 その後、計器調整を実施。 なお、当該計器は傾向監視できる状態であり、水位保持状態を確認している燃料プール浄化系運転性能検査に影響なし。	GⅢ